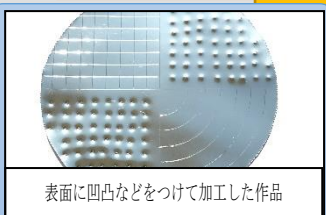


学年	教科等	題材名	日時
第5学年	図画工作科	かんかん トントン コースター	平成30年2月2日(金) 1校時
本実践の主張	<p>質感を中心とした造形的な見方・考え方が働くようにするために、叩いたりひっかいたりすることで質感が変化する金属板の特徴を生かして、金属の感じが生きているコースターを制作する「かんかんトントンコースター」という題材を開発しました。工夫の仕方が異なる参考作品を比較させ、話し合わせることで、金属の感じを生かすためには表面の工夫の仕方が重要であることを理解することができるようにしました。そうすることで、金属の感じを生かすという造形的な視点をもって表面の工夫ができるようにしました。</p>		

## 造形的な見方・考え方を働かせるための手立て

質感の生かし方の違う二つの作品を見たり触ったりしながら比較することで、金属の感じを生かすように表面を工夫することが大切であることに理解させる。

金属の感じが生きているのはどちらだろうか？



表面に凹凸などをつけて加工した作品



色付けなどで金属の質感を際立たせた作品

全体にきらきらしているし、触った感じもぼこぼこ跡がついていて、金属の感じがするよね。

色の奥に金属がきらりと光っていて、金属の感じがするよね。



ぼくは、金槌で叩いた後に紙やすりで削ってみました。元の缶の色がへこんだところだけに残って、金属の感じがしました！



金属の表面をどのように工夫したか記述させることで、金属の質感への理解が深まるようにする。

先生が見せてくれたみたいにたくさんひっかくと猫の毛みみたいになるかな...



用具を試させたり、見本から自分の表現に合った加工の仕方を見付けさせたりする。

作りたいコースターに合う表面の工夫はないかな？

金属の感じを生かすには、表面の工夫が大切なんだ！



紙やすりで削ると、ひっかいたような線がたくさんできたぞ！



表現の試しができる金属板を準備する。



加工見本を見せて言葉かけをする。

## 表現を探求し続ける意欲を高める教師の働きかけ

前時に見られた表現を探求し続ける姿を、教師が価値付け、称賛する。

子どもの表現を探求する意欲に応じて教師が働きかける。

表現の探求に夢中になっている子どもに対して

早く完成し、満足感を得ている子どもに対して

前の時間に一人一人が金属板を金槌で叩いたり、釘でひっかいたりして、どんな工夫が出来るかを探している姿が素晴らしいと思いました。

ごっこした感じを生かして、地球の表面のようにしてみろぞ！

波のところがきらきらと光るように、何度もひっかいて線をつけていっしょ。

次の作品は、裏からも叩いてあとをつけてみたらどうだろう？



子どもの探求する姿を写真等で記録する。



姿が見られたときに称賛する。



次の作品に取り組ませる。

### 授業をふりかえって

- 金属の質感の生かし方から豊かな発想や構想し、質感に拘って表現しようとする子どもの姿が見られた。
- 質感以外の造形要素も工夫しようと夢中になっている子どもに対して、どのような言葉かけをしていけばよいか考えていく必要がある。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)  
miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

